

エアリアマップ 山口市街図

昭和 47 年 (1972) (昭文社発行)

山口市歴史民俗資料館蔵

⑦市民会館

維新百年記念事業の一つとして、旧山口大学本部跡に昭和 46 年開設、同年制定した市民憲章の碑が中庭に設置されました。

⑧中央

市街地等を対象とした住居表示が、白石地区では昭和 43 年に実施されました。早間田・新道・清水・田町等の一部は「中央」に改められ、土地の歴史を刻んできた町名が姿を消しました。住居表示は市役所を起点としており、町名は現中央郵便局の地に当時市役所があったことによるものと思われる。

⑨駅通り

旧町名は今道・今市・米殿小路等。住居表示実施と同時期に拡幅工事も行われました。

⑩新鰐石橋

昭和 38 年国道 262 号線の防府 - 山口間が完成 (一部は今の県道 21 号)、同 47 年秋までの全線が開通しました。この橋も 38 年頃架橋されたものと思われる。現在の橋は平成 7 年造られたもので、翌年吊り橋陸橋 (宮島町横断歩道橋) も設置されました。

⑪山口中央高

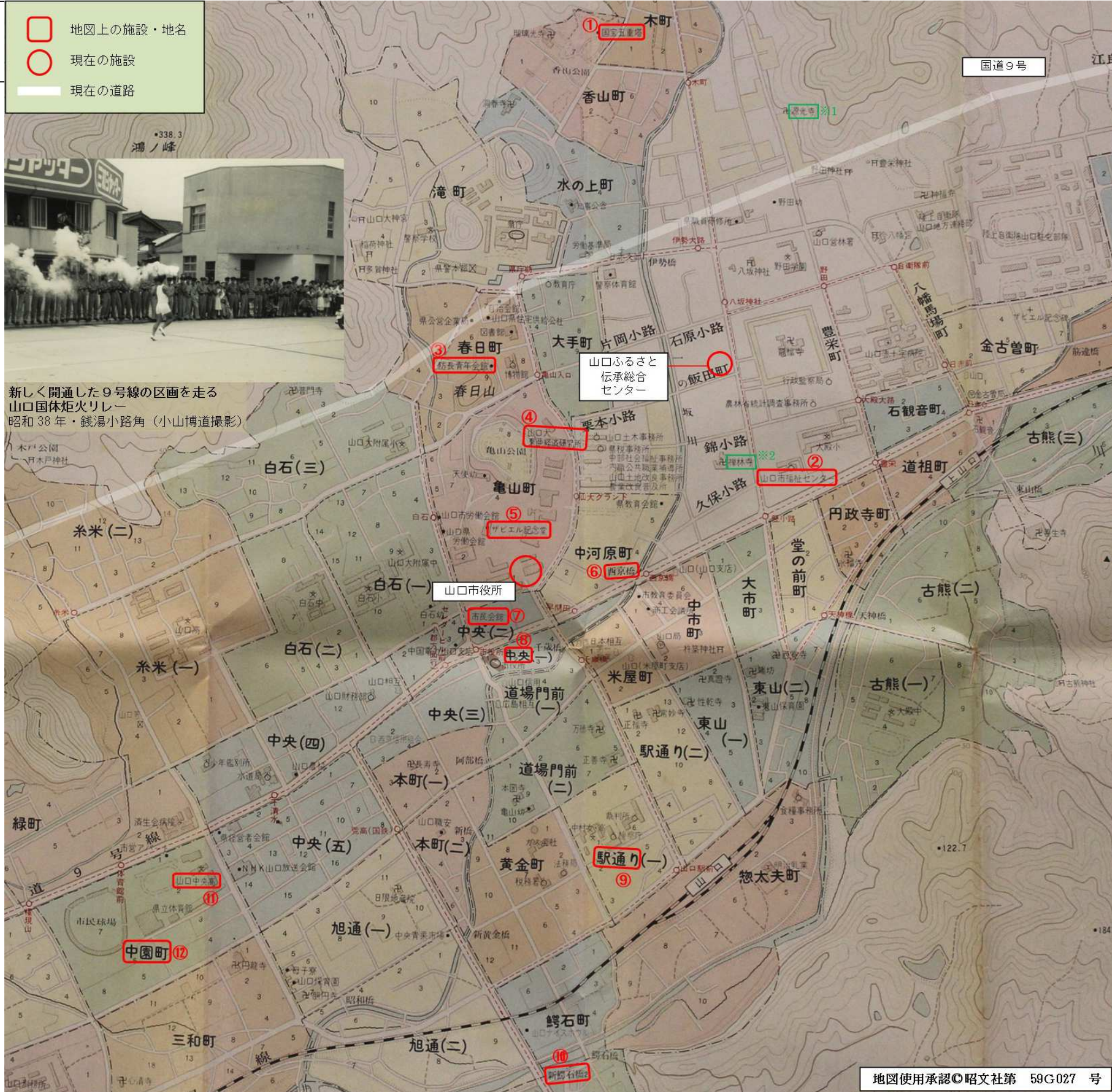
旧制山口高等女学校が学制改革により昭和 23 年山口女子高等学校として発足。翌年山口西高等学校に改称、翌年山口東高校と統合して山口高等学校に。山口大学文学部との敷地校舎交換に伴い、同 30 年山口中央高等学校として分離独立、清水に新築移転しました。男女共学制を維持しつつ女子生徒のみでしたが、平成 7 年宮島町の現在地に新築移転、同 11 年初めて男子生徒が入学し共学化へ。

⑫中園町

旧町名は中讃井・清水等。町名は当時あった中央公園に由来します。市民球場が昭和 30 年に、県体育館が同 35 年に完成。同 40 年山口青年会議所創立 10 周年記念として造られたカラー噴水が見えしました。両施設は平成 10~11 年頃解体、同 15 年山口情報芸術センターが開館しました。中込田遺跡では中世の道の跡が見つかっています。

地図上の下記の表記は誤りと思われる。

- ※1 源光寺 (誤) →雲谷庵 (正)
- ※2 禅林寺 (誤) →法界寺 (正)



①瑠璃光寺五重塔前の公園

五重塔前はかつては田園でしたが、昭和 38 年山口国体にあわせて公園化され、造られた池にコイが放流されました。同年夜間照明が、同 40 年満月の庭が完成しました

②山口市福祉センター

維新百年記念事業として、旧県工業試験場跡に昭和 43 年老人福祉館・児童館が開館、前庭にはひよっこり山が設けられました。

③防長青年会館

皇太子御降誕記念事業として、防長先賢堂・博物館等が並ぶ春日山に昭和 12 年竣工。青年団の活動拠点、修養道場として講習会・宿泊等に利用されました。戦後一時山口進駐米国軍政本部が設置されました。同 58 年神田町の現在地へ再建、平成 18 年より県民活動支援センターが置かれています。

④山口大東亜経済研究所

山口高等商業学校 (山口大学経済学部の前身) の附属施設として昭和 8 年設立、膨大な文献資料を収集してきました。山口大学は、長府にあった農学部が山口市移転 (昭和 41 年) に続き、亀山周辺の本部 (はじめ各学部が平川地区姫山南麓に移転、同 48 年経済学部の移転により完了しました)。

⑤サビエル記念堂

サビエル渡来 400 年を記念し昭和 27 年落成。サビエル城を模したロマネスク様式の聖堂は山口のシンボルとして親しまれますが、平成 3 年焼失。全国から募金が集まり、同 10 年テントをモチーフにした白亜の聖堂が完成しました。

⑥西京橋

国民体育大会の山口開催を控え、昭和 37 年から国道 9 号の改修工事が本格化、多くの世帯の移転を伴う早間田から女子短大 (現県立大) 付近までが途切れていましたが、翌年貫通。中心市街一帯は大きく変貌しました。その過程で中河原橋を拡幅のため取り壊し、新たに架設する橋の名を一般公募。「西京橋」は市内で最も幅の広い橋 (25.5m) として 38 年竣工しました。

○アーケード

市内ではじめてのアーケードの工事が安部橋から始まり、昭和 38 年道場門前に「10 万人の散歩道」として完成、同年米屋町まで連なりました。同 48 年中市商店街にも、天井にシャンデリアが輝くアーケードが完成しました。